

中小企業景況調査報告書

令和 3 年度

第 1 回 (令和 3 年 4 月～6 月期)



岡山県商工会連合会

調査要領

1 調査方法

県下の下記調査対象商工会地区の該当企業を経営指導員が直接訪問して調査した。

2 調査時期

令和3年4月～6月期の実績（6月は見込）及び令和3年7月～9月期の見通しを対象としたこの調査は、令和3年6月1日時点で実施した。

3 調査対象

《商工会別等の区分》

商工会名	産業別、人口規模別市町村類型別内訳	企業数	業種別企業数			
			製造業	建設業	小売業	サービス業
岡山北	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	4	5
岡山西	〃	15	3	3	4	5
岡山南	〃	15	4	2	6	3
瀬戸内市	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	2	4	5
赤磐	〃	15	4	2	5	4
総社吉備路	〃	15	4	3	4	4
真備船穂	地域産業・人口10万人以上の都市に含まれる地区	15	3	3	5	4
備中西	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	4	2	4	5
備北	地域産業・人口3～10万人の地区郡部	15	4	2	6	3
真庭	〃	15	3	3	4	5
久米郡	地域産業・人口1～3万人の地区郡部	15	3	3	4	5
鏡野町	〃	15	3	2	4	6
合計	12商工会	180	42	30	54	54

4 DIとは

DIとはディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気動向を表す指標のことである。算出方法は増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いて計算する。DIがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）となるが、商品仕入、販売などの単価の場合は、プラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となる。

例えば、売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合は、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、売上高に対して強気（楽観）の度合いを表している。

また、商品仕入単価で上昇企業20%、不変企業30%、低下企業50%の場合は $DI = 20 - 50 = -30$ となり、商品仕入単価に対して低下気運の度合いを表している。

目 次

	頁
1 産業全体の景況概況	2
(1) 商工会地区の業況判断D I	2
(2) 主要4項目ごとの全体及び各業種の推移	4
2 製造業の景況	6
(1) 主要項目の動き	6
(2) 主要3項目の状況	7
(3) 経営上の問題点の状況	8
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	8
(5) 主要景況項目の概況	9
3 建設業の景況	10
(1) 主要項目の動き	10
(2) 主要3項目の状況	11
(3) 経営上の問題点の状況	12
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	12
(5) 主要景況項目の概況	13
4 小売業の景況	14
(1) 主要項目の動き	14
(2) 主要3項目の状況	15
(3) 経営上の問題点の状況	16
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	16
(5) 主要景況項目の概況	17
5 サービス業の景況	18
(1) 主要項目の動き	18
(2) 主要3項目の状況	19
(3) 経営上の問題点の状況	20
(4) 設備投資の状況及び投資内訳	20
(5) 主要景況項目の概況	21

産業全体の景況概況

産業全体の業況D Iは、4期連続で好転。着実な改善が続く。

製造業では売上の額、数量ともに大幅改善。建設業では材料仕入単価の上昇が響く。

産業全体の業況D Iは－21.7と好転した（前期差9.4ポイント増加）。

業種別業況判断D Iは、製造業、サービス業は好転、小売業は変化なし、建設業は悪化した。

全産業の主要4項目D Iは、前期と比較して、売上（完成工事）額D Iが23.3ポイントの増加、採算D Iは10.5ポイントの好転、資金繰りD Iは10.5ポイントの好転、従業員D Iは6.1ポイントの増加。主要4項目D Iは揃って増加（好転）した。

製造業 「業況判断D I」は、2.4、対前期比35.7ポイントの好転。

業況判断D I値は、好転、不変が増加、悪化が減少した。主要D Iの前期比較は、売上（加工）額D I、採算D I、資金繰りD I、従業員D Iの全てが増加（好転）した。

調査対象企業から、「コロナ禍の落ち込みは回復してきたように思えるが、需要自体が好転しているとは言い難い」（他に分類されないはん用機械・装置製造業）、「注文は少しずつ増えているが、コロナの影響をいつ受けてもおかしくない状況」（他に分類されない金属製品製造業）というコメントがあった。

建設業 「業況判断D I」は、－6.7、対前期比3.3ポイントの悪化。

業況判断D I値は、好転、悪化が増加、不変が減少した。主要D Iの前期比較は、完成工事額（請負工事）D I、採算D Iが減少（悪化）、資金繰りD I、従業員D Iが増加（好転）した。

調査対象企業から、「コロナで引き合いが減少の上、米国の住宅問題、コンテナ不足で木材が入荷しない。住宅の建築ができず売上に大きく影響」（一般土木建築工事業）、「前期は公共工事の特需があり好調であったが、今期は特需もなく、先行が不透明」（給排水・衛生設備工事業）というコメントがあった。

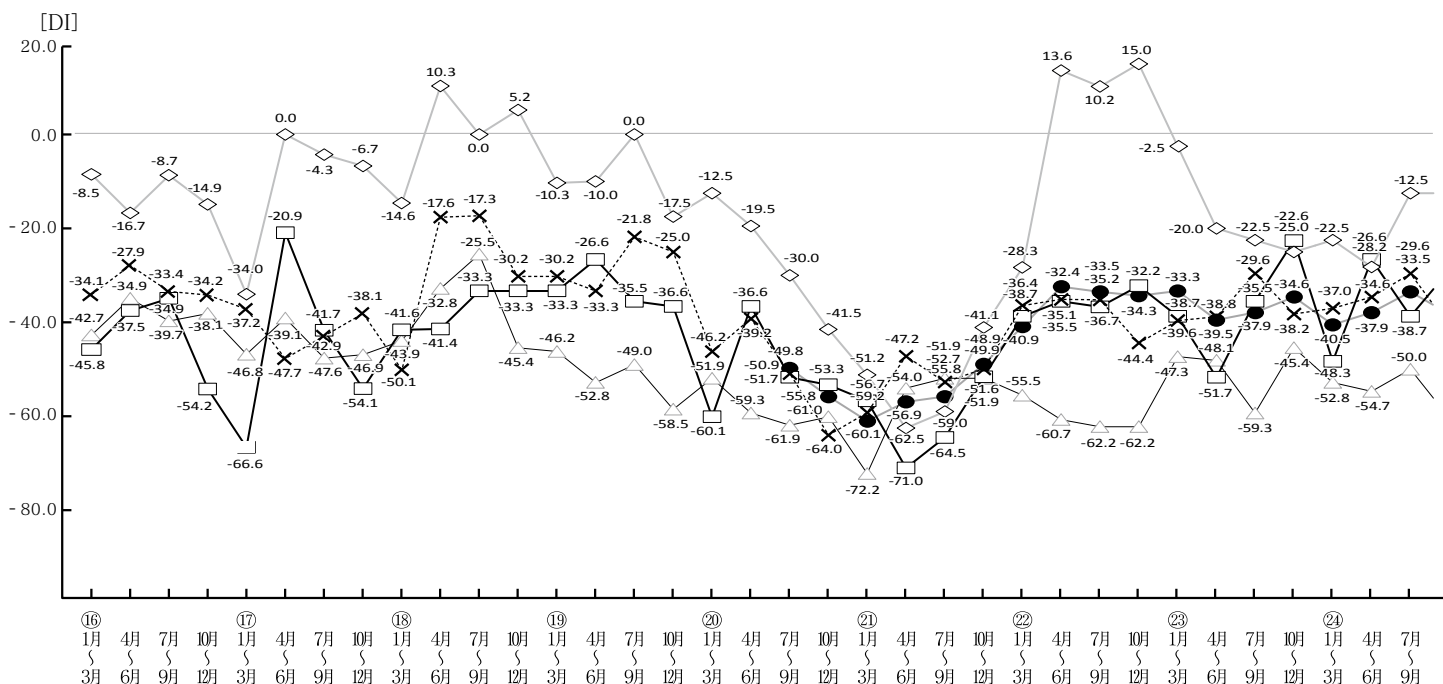
小売業 「業況判断D I」は、－42.6、前期と変化なし。

業況判断D I値は、好転、不変、悪化とも増減なし。主要D Iの前期比較は、売上額D I、採算D I、従業員D Iが増加（好転）、資金繰りD Iが悪化した。

調査対象企業から、「前期と比べて売上も上がり、コロナの影響は落ち着いてきたと思われる」（各種食料品小売業）、「ネットショップの更新頻度を高めたことで、ネットショップの利用促進に繋がった。売上高も好調に推移」（農業用機械器具小売業）というコメントがあった。


























(1) 商工会地区の業況判断D I







<図1-1>（岡山県）商



業況判断D I 値は、好転が増加、不変が減少、悪化は増減なし。主要D I の前期比較は、売上（収入）額D I、採算D I、資金繰りD I、従業員D I の全てが増加（好転）した。

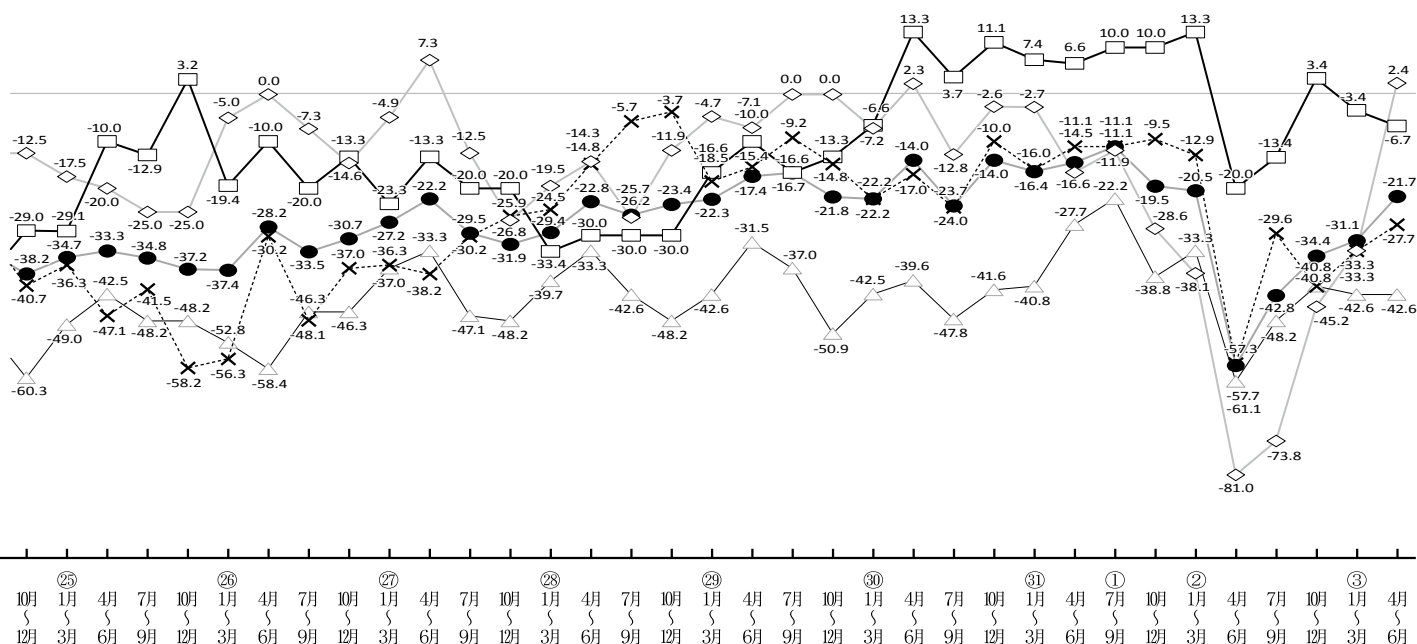
商工会地区の業況判断DI天気図

業種 期間	全体	製造業	建設業	小売業	サービス業
令和2年 7月～9月	 -42.8	 -73.8	 -13.4	 -48.2	 -29.6
令和2年 10月～12月	 -34.4	 -45.2	 3.4	 -40.8	 -40.8
令和3年 1月～3月	 -31.1	 -33.3	 -3.4	 -42.6	 -33.3
令和3年 4月～6月	 -21.7	 2.4	 -6.7	 -42.6	 -27.7
令和3年 7月～9月 (予想)	 -33.9	 -2.4	 -36.6	 -53.7	 -37.0

	快晴 : D I	5 0 . 1 ~ 1 0 0 . 0		晴れ : D I	0 ~ 5 0 . 0
	曇り : D I	— 0 . 1 ~ — 1 5 . 0		曇り : D I	— 1 5 . 1 ~ — 3 0 . 0
	曇り : D I	— 3 0 . 1 ~ — 5 0 . 0		雨 : D I	— 5 0 . 1 ~ — 1 0 0 . 0

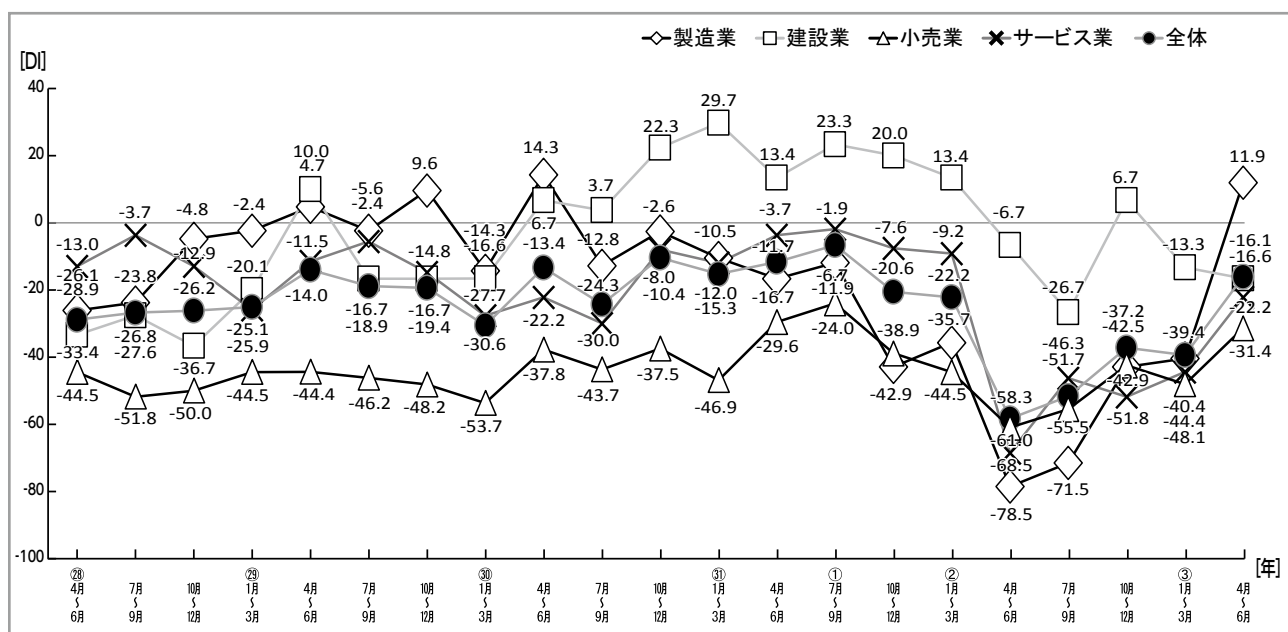
◇製造業 □建設業 △小売業 ×サービス業 ●全体

※全体の数値については、平成20年7月～9月以降の数値になります。

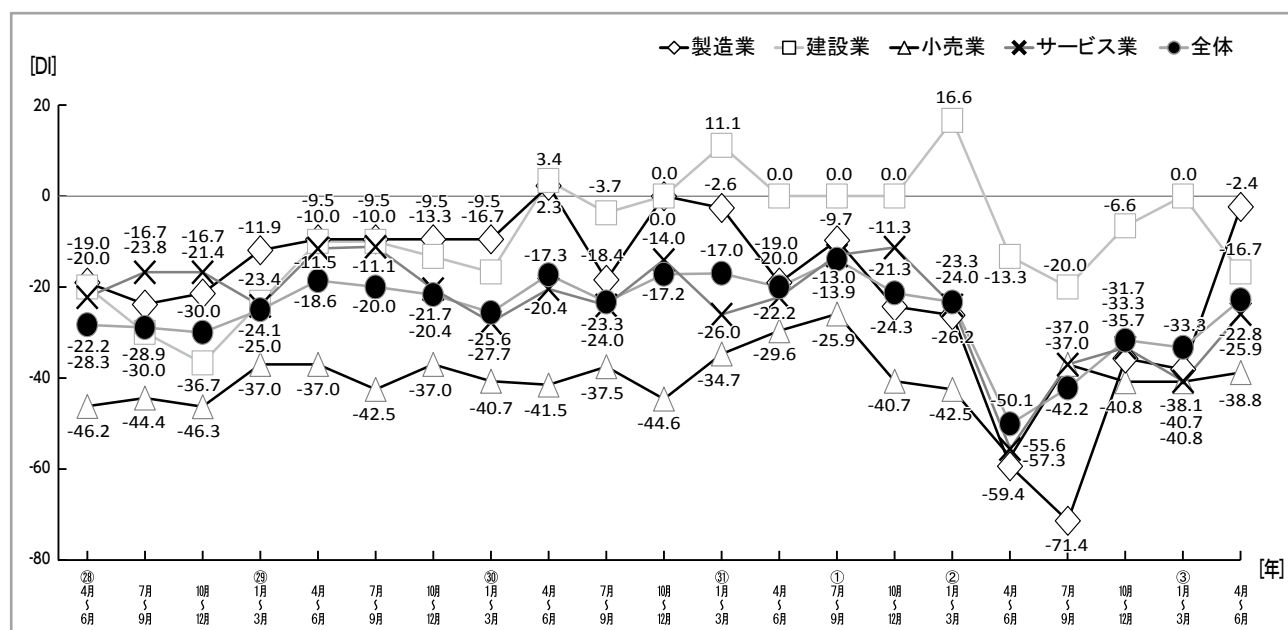


(2) 主要4項目ごとの全体及び各業種の推移

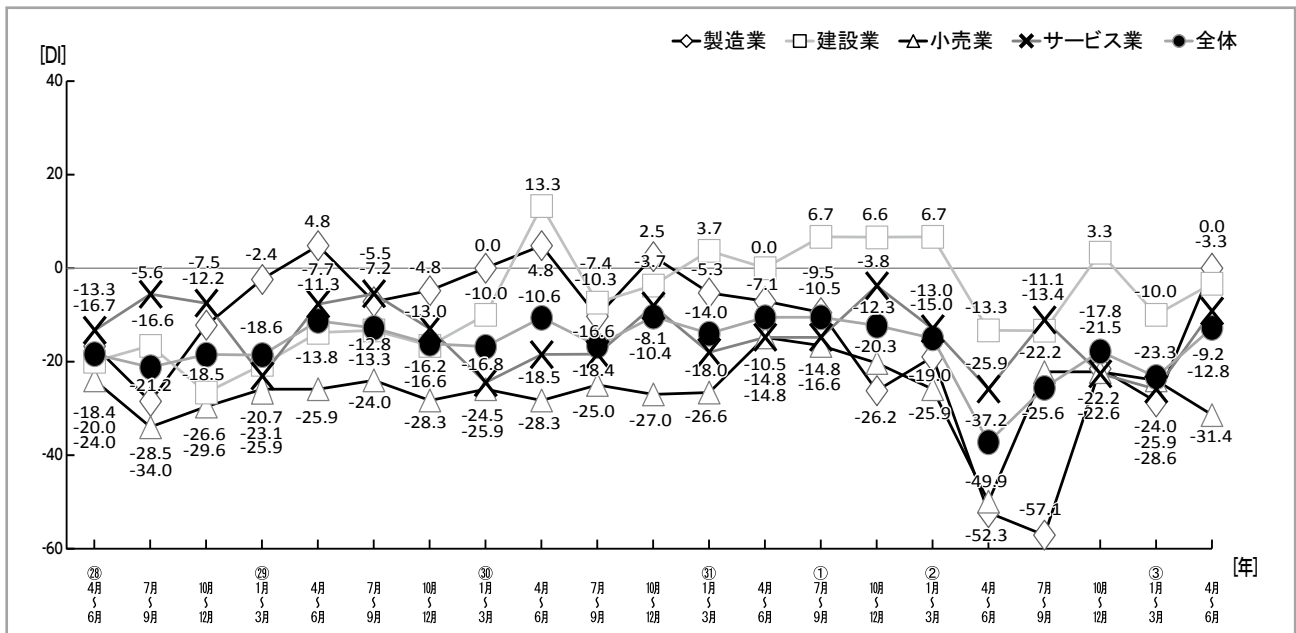
＜図1－2＞（岡山県）売上（完成工事）額の推移 ー前年同期比ー



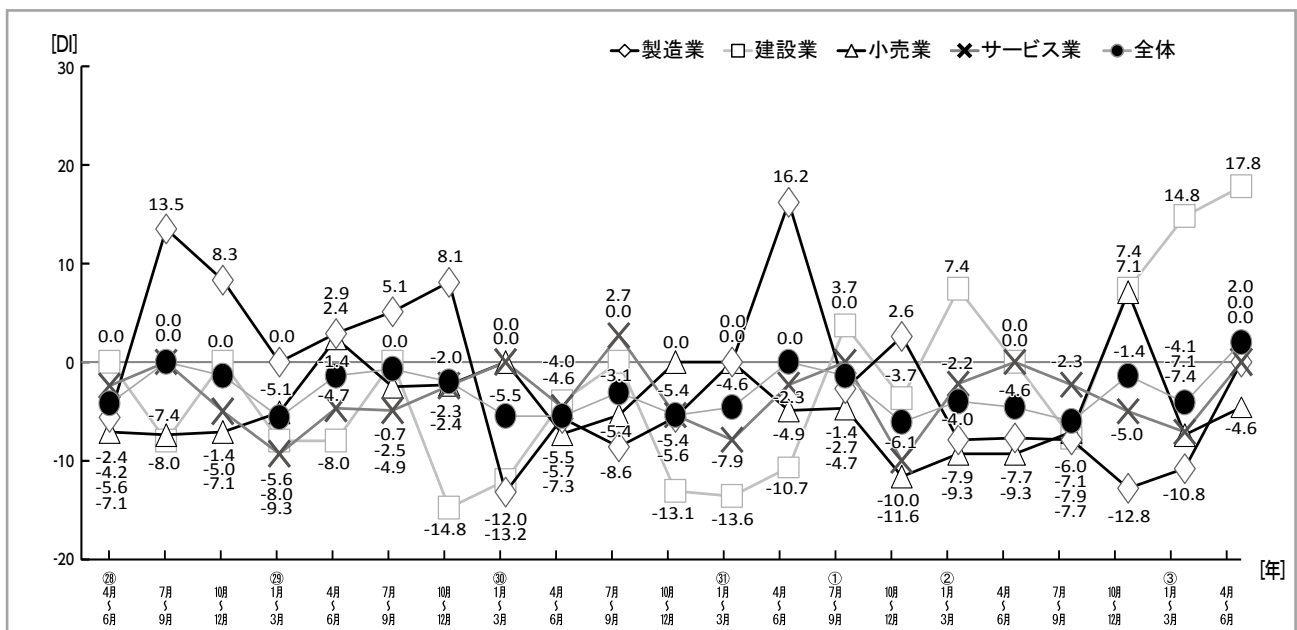
＜図1－3＞（岡山県）採算の推移 ー前年同期比ー



＜図１－４＞（岡山県）資金繰りの推移 ー前年同期比ー



＜図１－５＞（岡山県）従業員数の推移 ー前年同期比ー



製造業の景況

1) 主要項目の動き

「売上（加工）額」D I（増加－減少）は、（前期－40.4）→11.9（前期差52.3ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比▲16.7ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－38.1）→－2.4（前期差35.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲7.1ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－28.6）→0.0（前期差28.6ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比0.0ポイントの増減なしを予想している。

「原材料仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期41.7）→50.0（前期差8.3ポイント増）と上昇した。

「売上（加工）単価」D I（上昇－低下）は、（前期－7.1）→2.3（前期差9.4ポイント増）と上昇した。

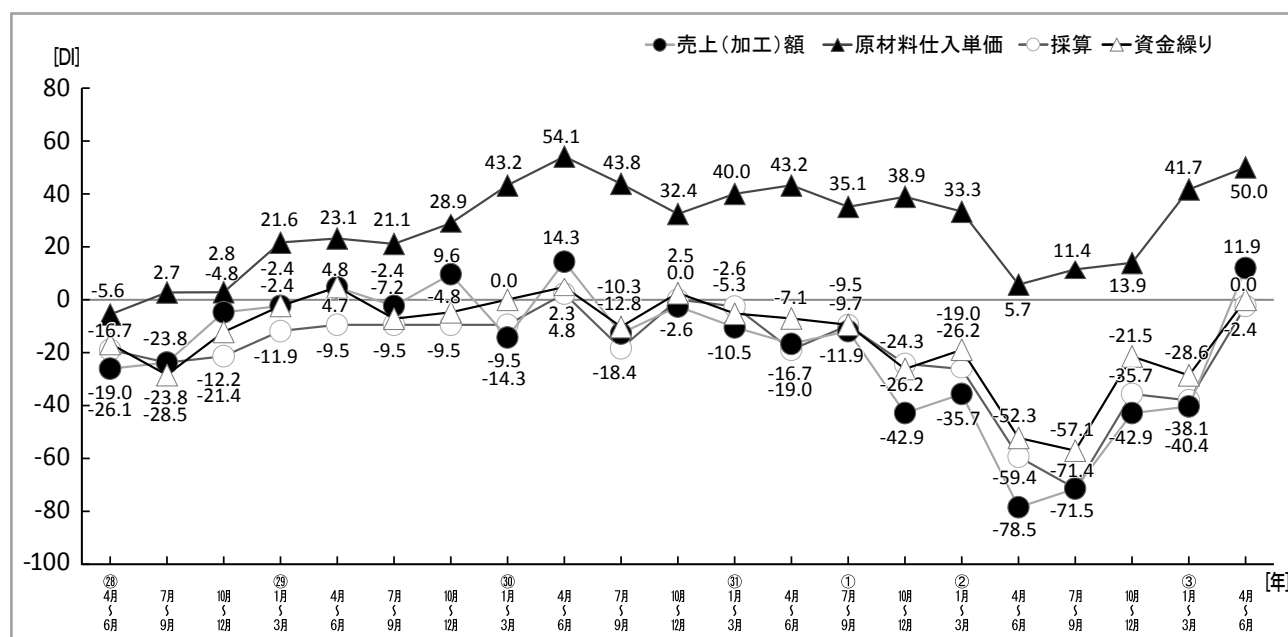
「売上（加工）数量」D I（増加－減少）は、（前期－42.8）→9.6（前期差52.4ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」（28.9％）、第2位は「原材料価格の上昇」（13.2％）、第3位は「原材料の不足」（10.5％）、第4位は「熟練技術者の確保難」（7.9％）である。

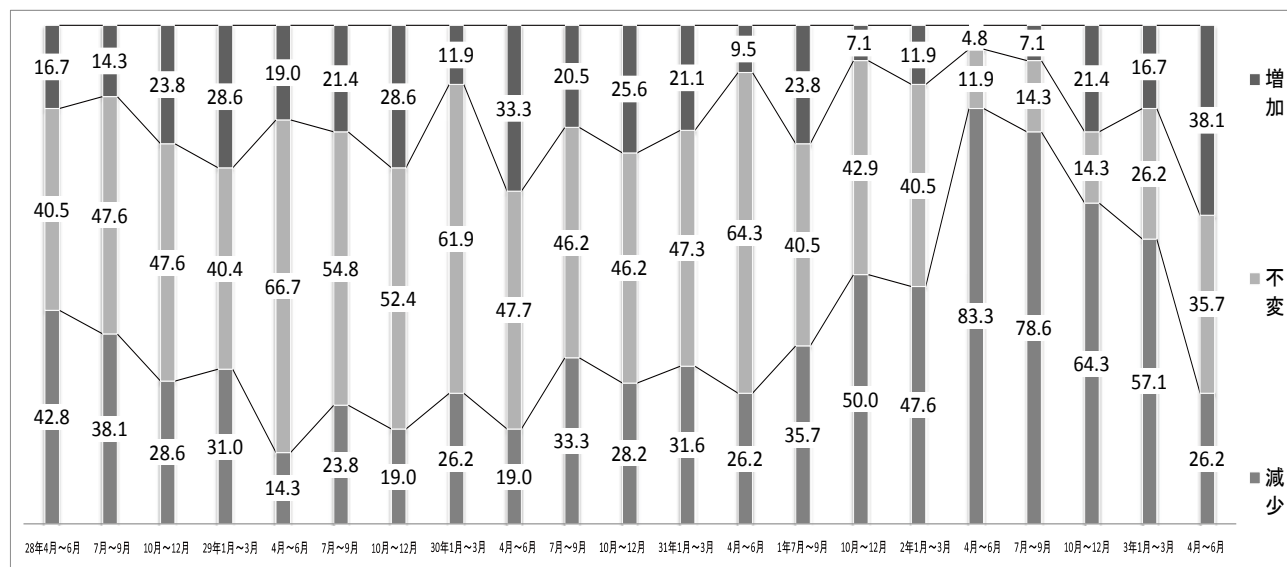
(1) 主要項目の動き

＜図2－1＞（岡山県）主要景況項目の推移 ー前年同期比ー

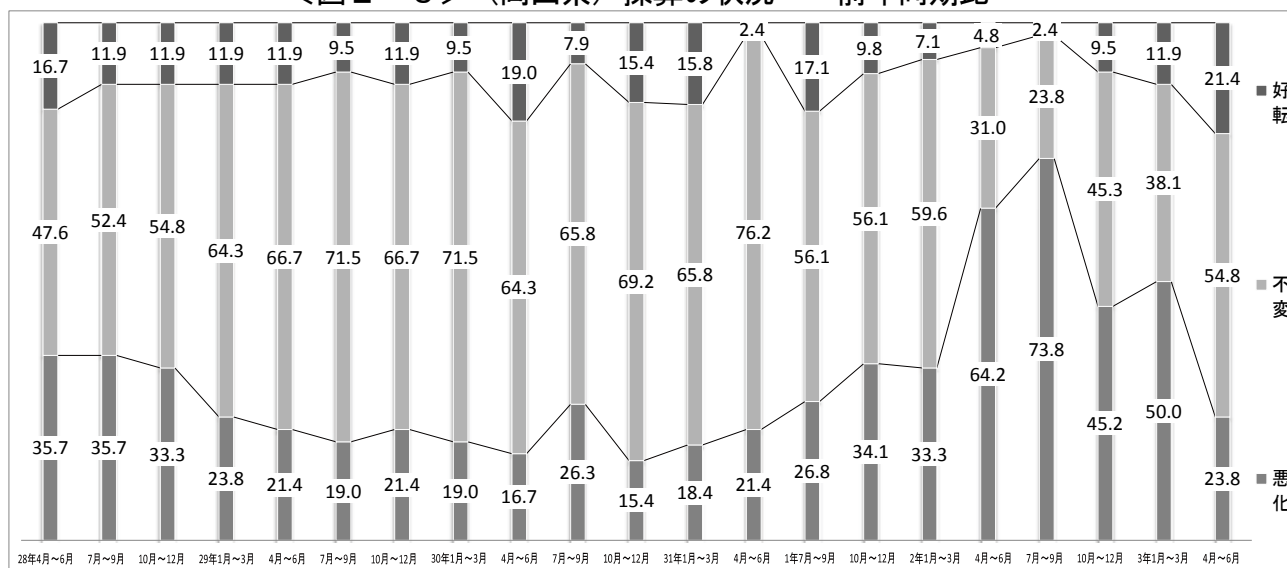


(2) 主要3項目の状況

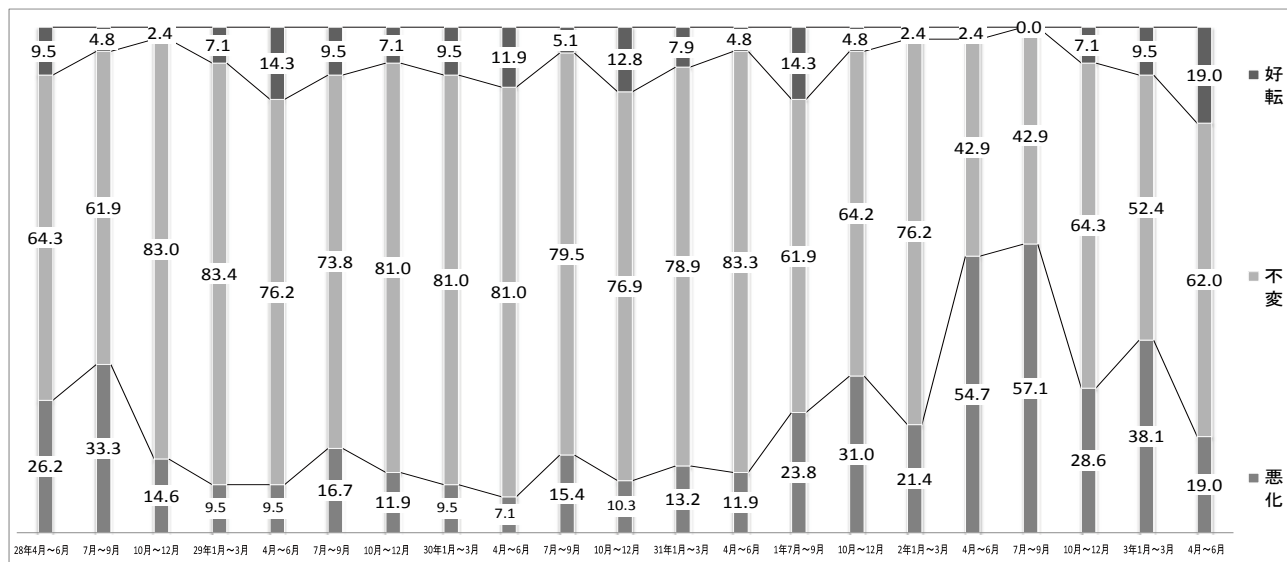
＜図2-2＞（岡山県）売上（加工）額の状況 ー前年同期比ー



＜図2-3＞（岡山県）採算の状況 ー前年同期比ー

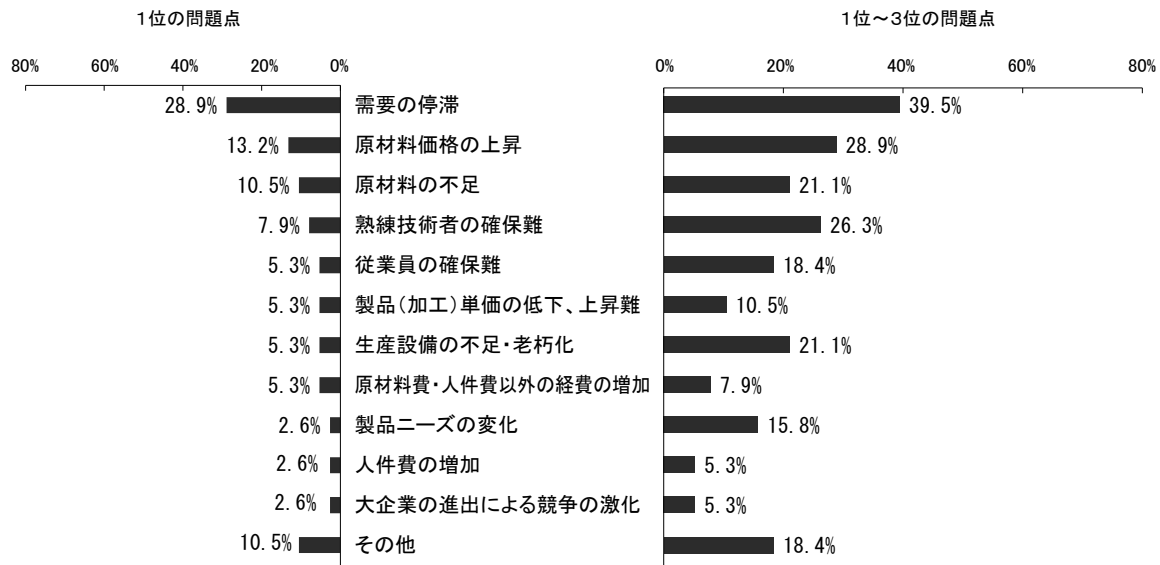


＜図2-4＞（岡山県）資金繰りの状況 ー前年同期比ー



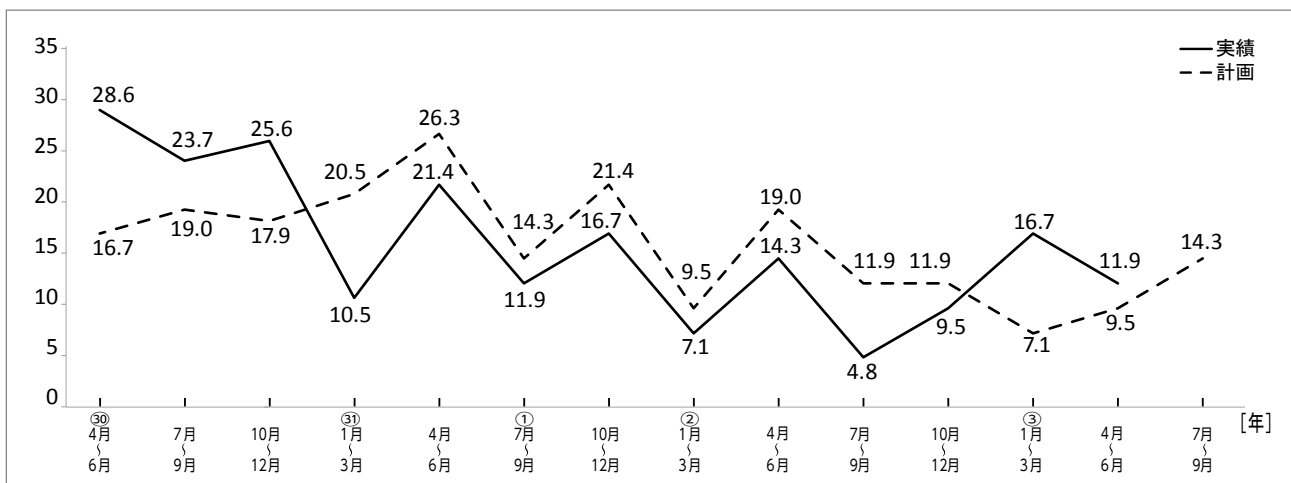
(3) 経営上の問題点の状況

＜図 2－5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図 2－6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表 2－1＞（岡山県）新規設備投資

新規設備投資		(%、上段：実施、下段：計画)													
		30年 4月 ～ 6月	30年 7月 ～ 9月	30年 10月 ～ 12月	31年 1月 ～ 3月	31年 4月 ～ 6月	元年 7月 ～ 9月	元年 10月 ～ 12月	2年 1月 ～ 3月	2年 4月 ～ 6月	2年 7月 ～ 9月	2年 10月 ～ 12月	3年 1月 ～ 3月	3年 4月 ～ 6月	3年 7月 ～ 9月
実施した 計画している		28.6 16.7	23.7 19.0	25.6 17.9	10.5 20.5	21.4 26.3	11.9 14.3	16.7 21.4	7.1 9.5	14.3 19.0	4.8 11.9	9.5 11.9	16.7 7.1	11.9 9.5	14.3
	土地	0.0 14.3	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 33.3	20.0 25.0	16.7
	工場建物	16.7 14.3	22.2 12.5	0.0 0.0	0.0 12.5	11.1 20.0	20.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7 12.5	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	20.0 0.0	16.7
	生産設備	41.7 57.1	44.4 62.5	80.0 85.7	75.0 62.5	22.2 60.0	40.0 100.0	85.7 88.9	66.7 75.0	33.3 25.0	50.0 80.0	50.0 100.0	71.4 66.7	40.0 50.0	50.0
	車両・運搬具	16.7 28.6	44.4 12.5	10.0 0.0	25.0 0.0	44.4 20.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7 25.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	16.7
	付帯施設	16.7 0.0	11.1 12.5	20.0 14.3	0.0 12.5	11.1 0.0	0.0 0.0	14.3 0.0	0.0 0.0	33.3 0.0	0.0 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	20.0 25.0	66.7
	〇A機器	8.3 14.3	11.1 12.5	20.0 0.0	0.0 0.0	33.3 10.0	20.0 16.7	14.3 11.1	33.3 25.0	33.3 25.0	0.0 0.0	0.0 40.0	14.3 0.0	40.0 0.0	16.7
	福利厚生施設	0.0 0.0	0.0 12.5	10.0 14.3	0.0 12.5	0.0 10.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 12.5	0.0 20.0	0.0 0.0	14.3 0.0	20.0 0.0	16.7
	その他	0.0 0.0	11.1 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 10.0	20.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	20.0 25.0	16.7
実施していない 計画していない		71.4 83.3	76.3 81.0	74.4 82.1	89.5 79.5	78.6 73.7	88.1 85.7	83.3 78.6	92.9 90.5	85.7 81.0	95.2 88.1	90.5 88.1	83.3 92.9	88.1 90.5	85.7

(5) 主要景況項目の概況

＜表２－２＞（岡山県）製造業（令和３年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a)－(c)
売上（加工）額	今期	38.1	35.7	26.2	11.9
	前期	16.7	26.2	57.1	-40.4
	今期－前期	21.4	9.5	-30.9	52.3
	来期	23.8	47.6	28.6	-4.8
	来期－今期	-14.3	11.9	2.4	-16.7
輸出額	今期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	10.0	80.0	10.0	0.0
	今期－前期	-10.0	20.0	-10.0	0.0
売上（加工）単価	今期	7.1	88.1	4.8	2.3
	前期	4.8	83.3	11.9	-7.1
	今期－前期	2.3	4.8	-7.1	9.4
売上（加工）数量	今期	31.0	47.6	21.4	9.6
	前期	16.7	23.8	59.5	-42.8
	今期－前期	14.3	23.8	-38.1	52.4
原材料仕入単価	今期	50.0	50.0	0.0	50.0
	前期	41.7	58.3	0.0	41.7
	今期－前期	8.3	-8.3	0.0	8.3
原材料在庫数量	今期	2.9	88.5	8.6	-5.7
	前期	2.9	80.0	17.1	-14.2
	今期－前期	0.0	8.5	-8.5	8.5
製品在庫数量	今期	2.9	88.5	8.6	-5.7
	前期	5.7	71.4	22.9	-17.2
	今期－前期	-2.8	17.1	-14.3	11.5
採算（経常利益）	今期	21.4	54.8	23.8	-2.4
	前期	11.9	38.1	50.0	-38.1
	今期－前期	9.5	16.7	-26.2	35.7
	来期	14.3	61.9	23.8	-9.5
	来期－今期	-7.1	7.1	0.0	-7.1
引合い	今期	22.5	57.5	20.0	2.5
	前期	12.2	46.3	41.5	-29.3
	今期－前期	10.3	11.2	-21.5	31.8
受注残	今期	12.2	70.7	17.1	-4.9
	前期	14.3	50.0	35.7	-21.4
	今期－前期	-2.1	20.7	-18.6	16.5
従業員 （含臨時・パート）	今期	13.2	73.6	13.2	0.0
	前期	5.4	78.4	16.2	-10.8
	今期－前期	7.8	-4.8	-3.0	10.8
外部人材 （請負・派遣）	今期	0.0	95.0	5.0	-5.0
	前期	5.6	88.8	5.6	0.0
	今期－前期	-5.6	6.2	-0.6	-5.0
設備操業率	今期	17.1	65.8	17.1	0.0
	前期	7.1	45.2	47.7	-40.6
	今期－前期	10.0	20.6	-30.6	40.6
業況（自社）	今期	26.2	50.0	23.8	2.4
	前期	14.3	38.1	47.6	-33.3
	今期－前期	11.9	11.9	-23.8	35.7
	来期	23.8	50.0	26.2	-2.4
	来期－今期	-2.4	0.0	2.4	-4.8
資金繰り	今期	19.0	62.0	19.0	0.0
	前期	9.5	52.4	38.1	-28.6
	今期－前期	9.5	9.6	-19.1	28.6
	来期	14.3	71.4	14.3	0.0
	来期－今期	-4.7	9.4	-4.7	0.0

建設業の景況

1) 主要項目の動き

「完成工事額（請負工事）」D I（増加－減少）は、（前期－13.3）→－16.6（前期差3.3ポイント減）と減少した。来期のD I（増加－減少）は、今期比▲3.4ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期0.0）→－16.7（前期差16.7ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲3.3ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－10.0）→－3.3（前期差6.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲13.4ポイントの悪化を予想している。

「材料仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期13.4）→60.0（前期差46.6ポイント増）と上昇した。

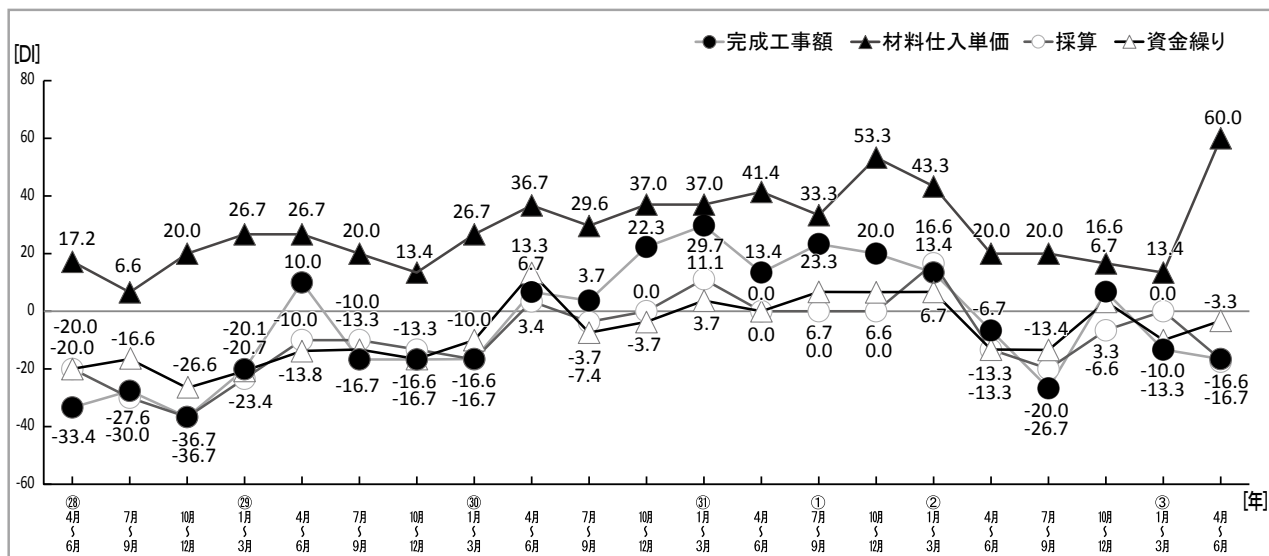
受注額（新規契約工事）」D I（増加－減少）は、（前期－6.7）→－13.4（前期差6.7ポイント減）と減少した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「官公需要の停滞」（16.7%）、第2位は「材料価格の上昇」（13.3%）、第3位は「従業員の確保難」、「民間需要の停滞」、「材料の入手難」、「材料費・人件費以外の経費の増加」（10.0%）である。

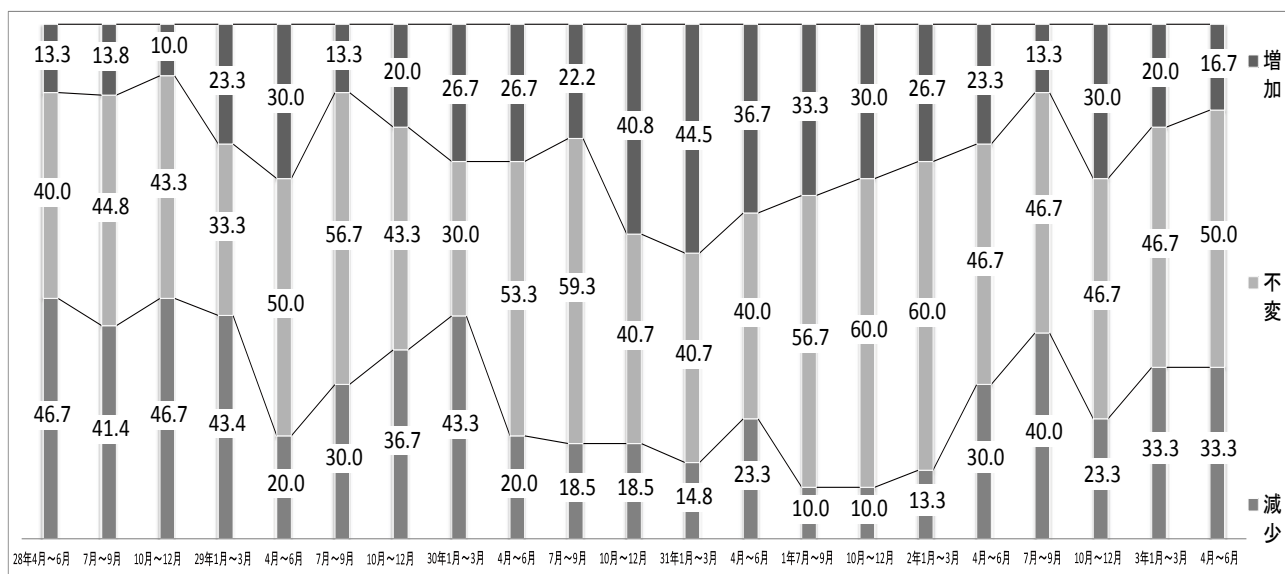
(1) 主要項目の動き

＜図3－1＞（岡山県）主要景況項目の推移 ー前年同期比ー

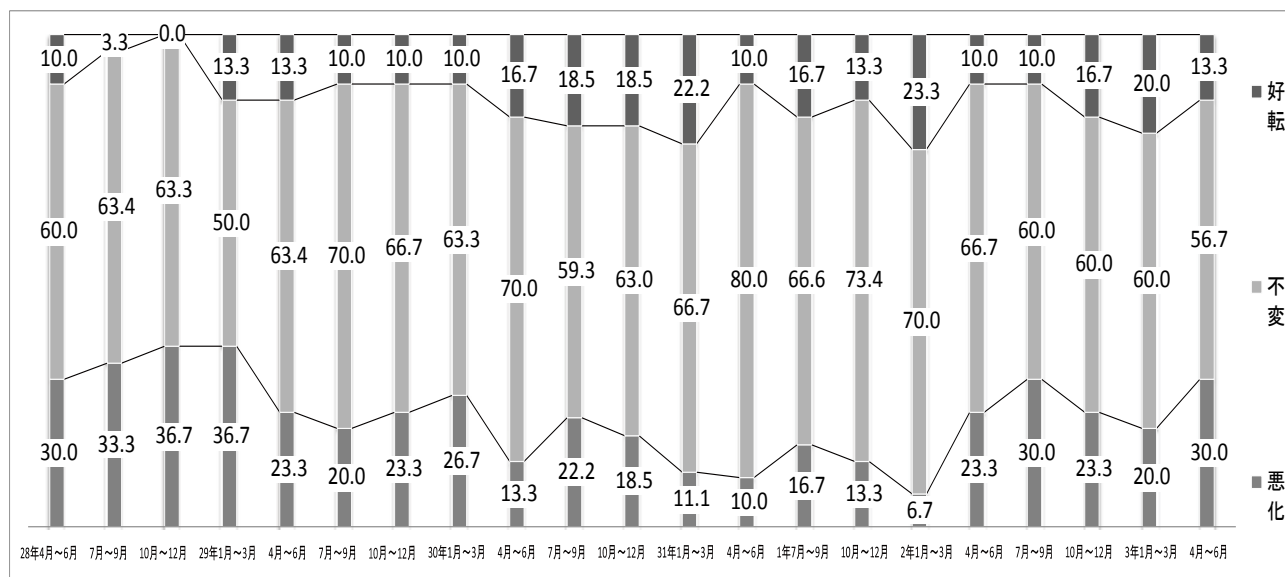


(2) 主要3項目の状況

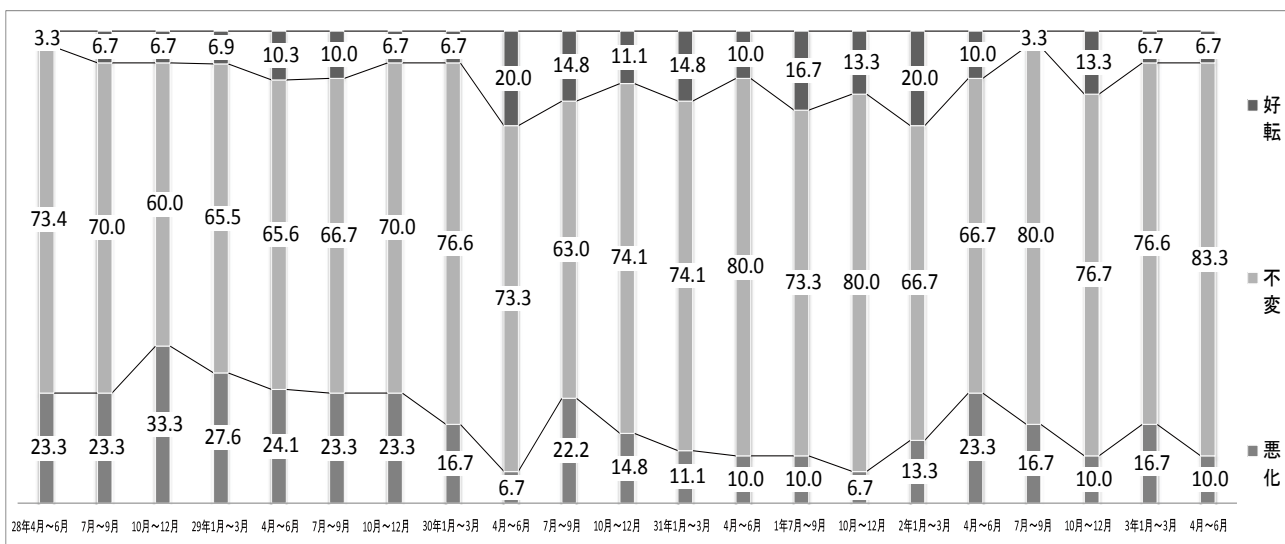
＜図3－2＞（岡山県）完成工事額（請負工事）の状況 ー前年同期比ー



＜図3－3＞（岡山県）採算の状況 ー前年同期比ー

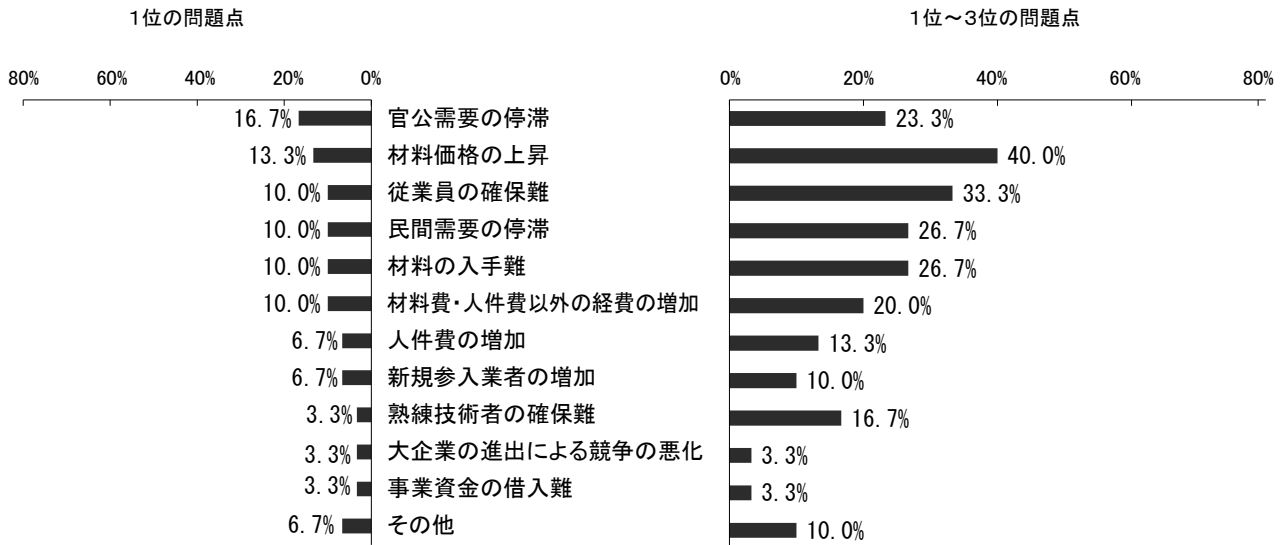


＜図3－4＞（岡山県）資金繰りの状況 ー前年同期比ー



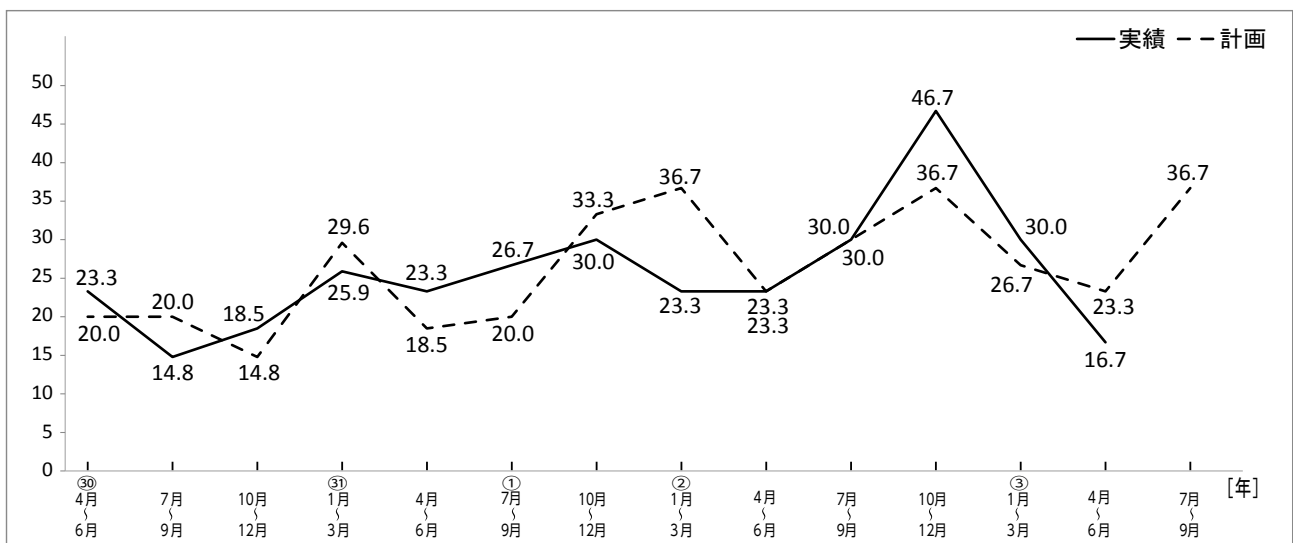
(3) 経営上の問題点の状況

＜図3-5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図3-6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表3-1＞（岡山県）新規設備投資

新規設備投資		(%、上段：実施、下段：計画)													
		30年 4月 ～ 6月	30年 7月 ～ 9月	30年 10月 ～ 12月	31年 1月 ～ 3月	31年 4月 ～ 6月	元年 7月 ～ 9月	元年 10月 ～ 12月	2年 1月 ～ 3月	2年 4月 ～ 6月	2年 7月 ～ 9月	2年 10月 ～ 12月	3年 1月 ～ 3月	3年 4月 ～ 6月	3年 7月 ～ 9月
実施した 計画している		23.3 20.0	14.8 20.0	18.5 14.8	25.9 29.6	23.3 18.5	26.7 20.0	30.0 33.3	23.3 36.7	23.3 23.3	30.0 30.0	46.7 36.7	30.0 26.7	16.7 23.3	36.7
	土地	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 25.0	14.3 37.5	0.0 20.0	25.0 16.7	22.2 20.0	28.6 18.2	42.9 14.3	0.0 22.2	14.3 9.1	11.1 25.0	20.0 28.6	18.2
	建物	0.0 16.7	25.0 16.7	0.0 0.0	0.0 12.5	0.0 60.0	37.5 33.3	33.3 40.0	42.9 45.5	71.4 28.6	0.0 33.3	14.3 18.2	33.3 50.0	0.0 57.1	9.1
	建設機械	42.9 16.7	50.0 50.0	60.0 75.0	0.0 25.0	71.4 20.0	37.5 33.3	11.1 20.0	42.9 9.1	28.6 28.6	55.6 33.3	35.7 27.3	55.6 50.0	40.0 14.3	27.3
	車両・運搬具	28.6 50.0	50.0 0.0	40.0 75.0	42.9 62.5	28.6 60.0	37.5 33.3	22.2 30.0	28.6 36.4	57.1 57.1	55.6 22.2	42.9 54.5	33.3 37.5	0.0 57.1	36.4
	付帯施設	14.3 16.7	25.0 0.0	0.0 0.0	0.0 12.5	0.0 40.0	12.5 0.0	11.1 20.0	28.6 0.0	42.9 14.3	22.2 11.1	7.1 0.0	11.1 12.5	0.0 0.0	9.1
	OA機器	14.3 33.3	50.0 0.0	0.0 0.0	28.6 25.0	14.3 40.0	25.0 16.7	22.2 0.0	28.6 9.1	71.4 28.6	22.2 33.3	28.6 18.2	11.1 12.5	60.0 28.6	18.2
	福利厚生施設	14.3 16.7	25.0 16.7	0.0 0.0	0.0 25.0	0.0 20.0	12.5 50.0	0.0 20.0	0.0 9.1	14.3 14.3	11.1 0.0	9.1 9.1	11.1 0.0	0.0 0.0	9.1
	その他	0.0 33.3	0.0 33.3	0.0 0.0	14.3 25.0	14.3 0.0	12.5 0.0	22.2 10.0	0.0 14.3	0.0 14.3	11.1 22.2	7.1 0.0	0.0 12.5	40.0 0.0	9.1
	実施していない 計画していない	76.7 80.0	85.2 80.0	81.5 85.2	74.1 70.4	76.7 81.5	73.3 80.0	70.0 66.7	76.7 63.3	76.7 76.7	70.0 70.0	53.3 63.3	70.0 73.3	83.3 76.7	63.3

(5) 主要景況項目の概況

<表3-2> (岡山県) 建設業 (令和3年4月～6月)

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a) - (c)
受注額 (新規契約工事)	今期	23.3	40.0	36.7	-13.4
	前期	20.0	53.3	26.7	-6.7
	今期－前期	3.3	-13.3	10.0	-6.7
完成工事額 (請負工事)	今期	16.7	50.0	33.3	-16.6
	前期	20.0	46.7	33.3	-13.3
	今期－前期	-3.3	3.3	0.0	-3.3
	来期	13.3	53.4	33.3	-20.0
	来期－今期	-3.4	3.4	0.0	-3.4
材料仕入単価	今期	60.0	40.0	0.0	60.0
	前期	16.7	80.0	3.3	13.4
	今期－前期	43.3	-40.0	-3.3	46.6
採算 (経常利益)	今期	13.3	56.7	30.0	-16.7
	前期	20.0	60.0	20.0	0.0
	今期－前期	-6.7	-3.3	10.0	-16.7
	来期	10.0	60.0	30.0	-20.0
	来期－今期	-3.3	3.3	0.0	-3.3
引合い	今期	10.0	60.0	30.0	-20.0
	前期	10.3	72.5	17.2	-6.9
	今期－前期	-0.3	-12.5	12.8	-13.1
契約残 (未消化工事高)	今期	20.0	53.3	26.7	-6.7
	前期	13.3	43.4	43.3	-30.0
	今期－前期	6.7	9.9	-16.6	23.3
従業員 (含臨時・パート)	今期	21.4	75.0	3.6	17.8
	前期	18.5	77.8	3.7	14.8
	今期－前期	2.9	-2.8	-0.1	3.0
外部人材 (請負・派遣)	今期	20.0	72.0	8.0	12.0
	前期	19.2	77.0	3.8	15.4
	今期－前期	0.8	-5.0	4.2	-3.4
業況 (自社)	今期	20.0	53.3	26.7	-6.7
	前期	13.3	70.0	16.7	-3.4
	今期－前期	6.7	-16.7	10.0	-3.3
	来期	6.7	50.0	43.3	-36.6
	来期－今期	-13.3	-3.3	16.6	-29.9
資金繰り	今期	6.7	83.3	10.0	-3.3
	前期	6.7	76.6	16.7	-10.0
	今期－前期	0.0	6.7	-6.7	6.7
	来期	3.3	76.7	20.0	-16.7
	来期－今期	-3.4	-6.6	10.0	-13.4

小売業の景況

1) 主要項目の動き

「売上額」D I（増加－減少）は、（前期－48.1）→－31.4（前期差16.7ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比▲5.6ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－40.8）→－38.8（前期差2.0ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲3.8ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－24.0）→－31.4（前期差7.4ポイント減）と悪化した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比1.8ポイントの好転を予想している。

「商品仕入単価」D I（上昇－低下）は、（前期3.7）→20.3（前期差16.6ポイント増）と上昇した。

「客単価」D I（上昇－低下）は、（前期－40.7）→－31.5（前期差9.2ポイント増）と上昇した。

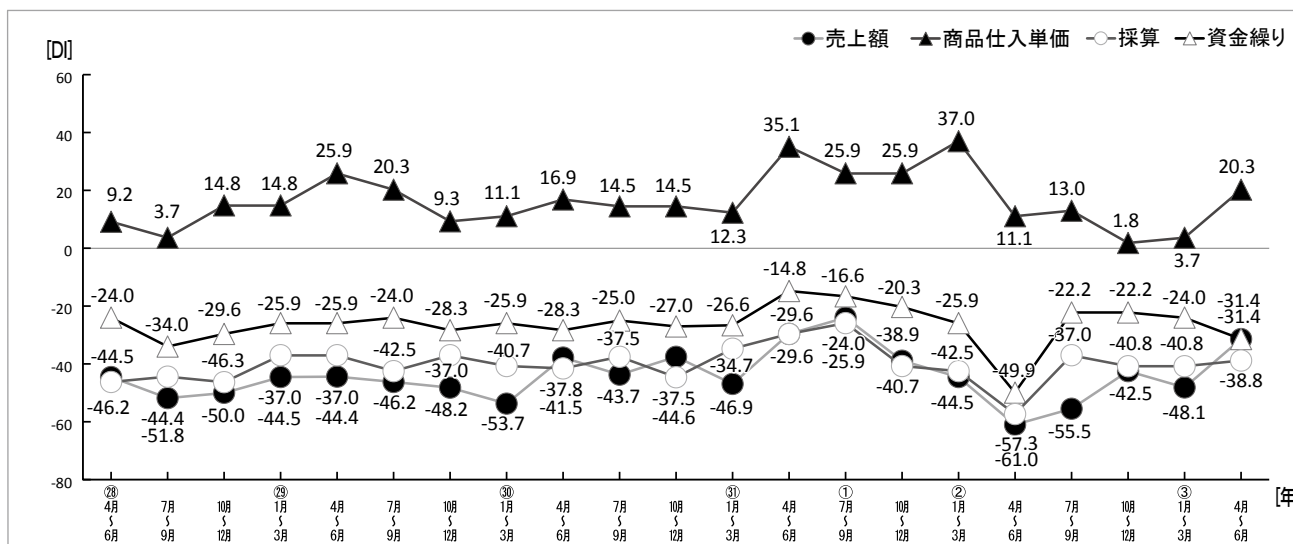
「客数」D I（増加－減少）は、（前期－48.1）→－37.0（前期差11.1ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」（28.8%）、第2位は「他地域への購買力の流出」（15.4%）、第3位は「消費者ニーズの変化への対応」、「大型店・中型店の進出による競争の激化」、（9.6%）、第5位は「店舗の狭隘・老朽化」（5.8%）である。

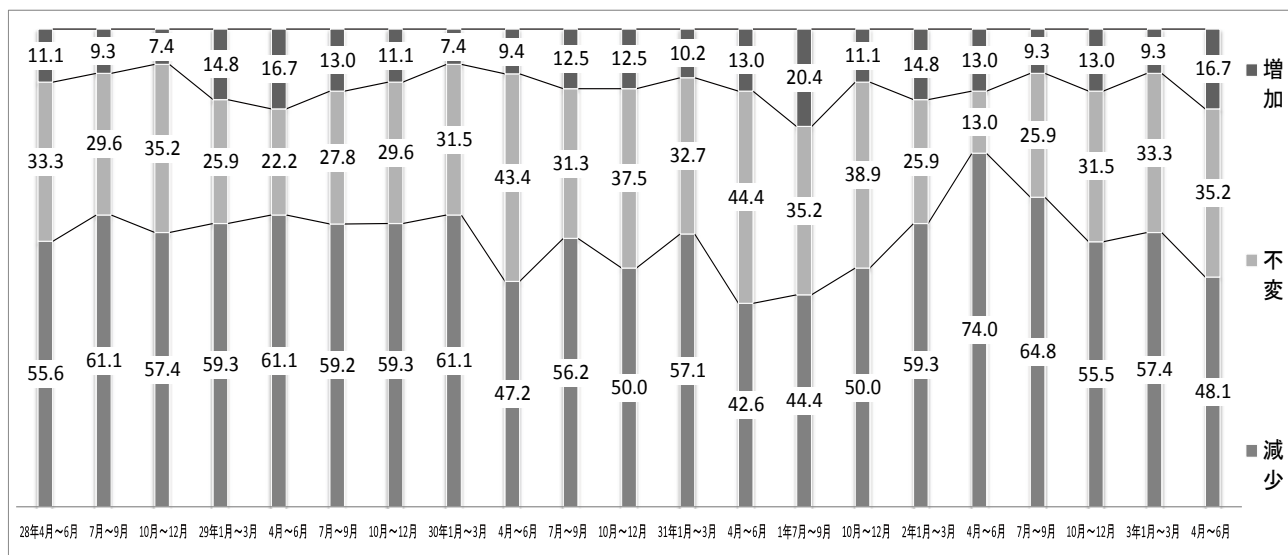
(1) 主要項目の動き

＜図4－1＞（岡山県）主要景況項目の推移 ー前年同期比ー

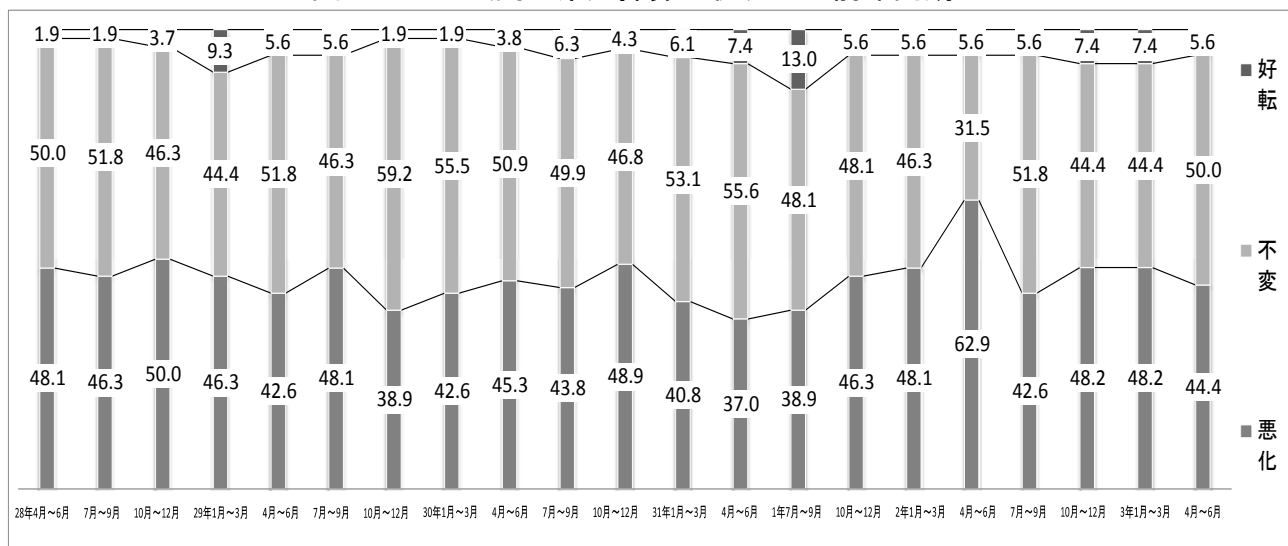


(2) 主要3項目の状況

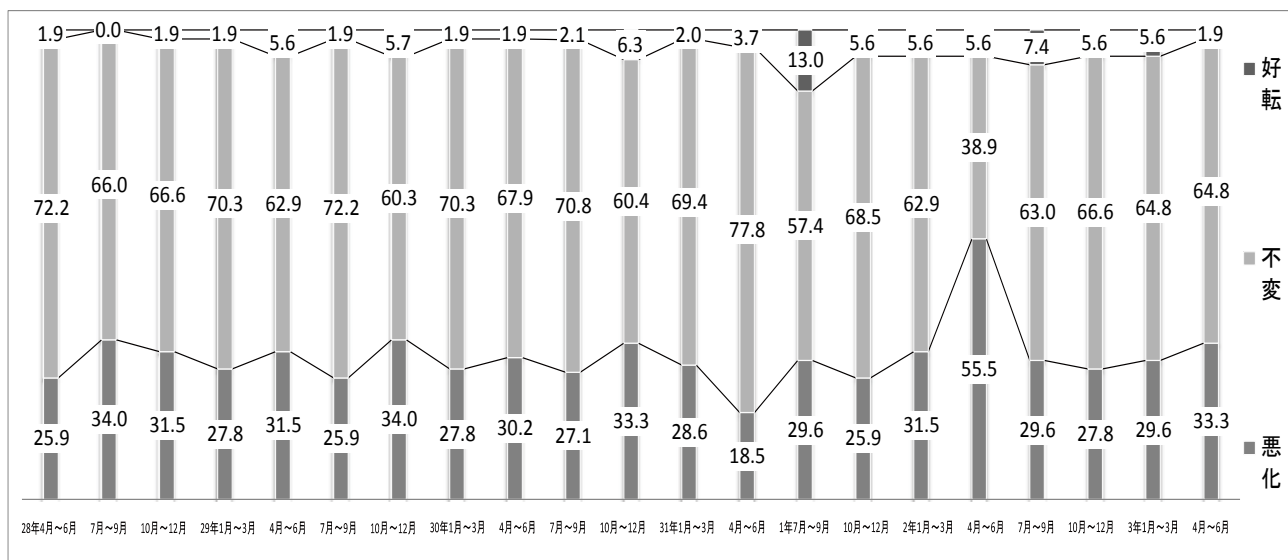
＜図４－２＞（岡山県）売上額の状況 一前年同期比一



＜図４－３＞（岡山県）採算の状況 一前年同期比一

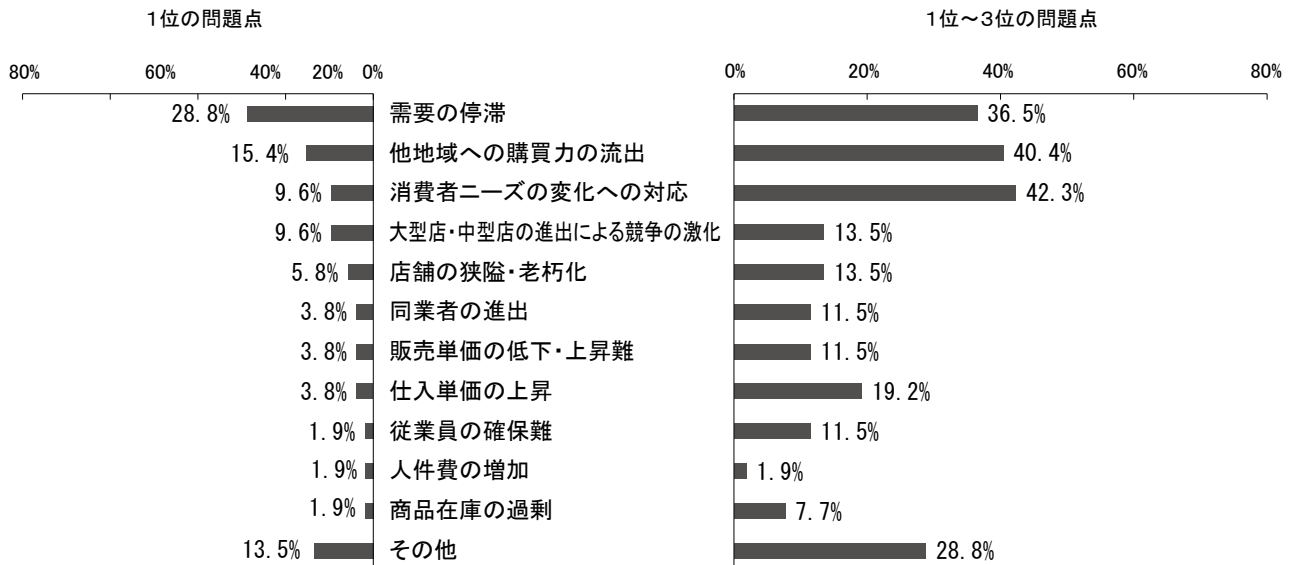


＜図４－４＞（岡山県）資金繰りの状況 一前年同期比一



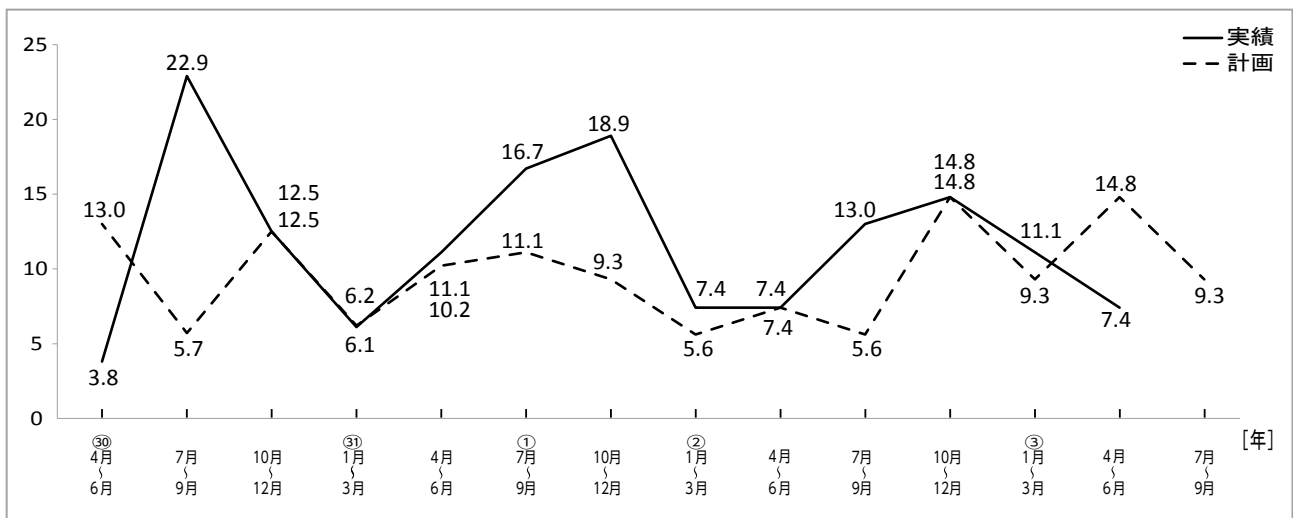
(3) 経営上の問題点の状況

＜図４－５＞（岡山県）経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図４－６＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表４－１＞（岡山県）新規設備投資

新規設備投資														
(%、上段：実施、下段：計画)														
	30年 4月 ～ 6月	30年 7月 ～ 9月	30年 10月 ～ 12月	31年 1月 ～ 3月	31年 4月 ～ 6月	元年 7月 ～ 9月	元年 10月 ～ 12月	2年 1月 ～ 3月	2年 4月 ～ 6月	2年 7月 ～ 9月	2年 10月 ～ 12月	3年 1月 ～ 3月	3年 4月 ～ 6月	3年 7月 ～ 9月
実施した	3.8	22.9	12.5	6.1	11.1	16.7	18.9	7.4	7.4	13.0	14.8	11.1	7.4	
計画している	13.0	5.7	12.5	6.2	10.2	11.1	9.3	5.6	7.4	5.6	14.8	9.3	14.8	9.3
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
店舗	0.0	18.2	33.3	0.0	0.0	33.3	30.0	25.0	25.0	28.6	12.5	16.7	25.0	20.0
販売設備	42.9	66.7	0.0	0.0	40.0	66.7	0.0	0.0	50.0	66.7	25.0	40.0	12.5	60.0
車両・運搬具	0.0	27.3	0.0	0.0	33.3	11.1	10.0	0.0	0.0	28.6	50.0	16.7	0.0	0.0
付帯施設	50.0	0.0	50.0	0.0	16.7	33.3	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	16.7	25.0	20.0
OA機器	42.9	100.0	16.7	33.3	20.0	16.7	20.0	66.7	0.0	0.0	12.5	20.0	37.5	40.0
福利厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	50.0	18.2	16.7	0.0	0.0	22.2	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
実施していない	96.2	77.1	87.5	93.9	88.9	83.3	81.1	92.6	92.6	87.0	85.2	88.9	92.6	
計画していない	87.0	94.3	87.5	93.7	89.8	88.9	90.7	94.4	92.6	94.4	85.2	90.7	85.2	90.7

(5) 主要景況項目の概況

＜表４－２＞（岡山県）小売業（令和３年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・ 増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・ 減少・悪化	(a)－(c)
売上額	今期	16.7	35.2	48.1	-31.4
	前期	9.3	33.3	57.4	-48.1
	今期－前期	7.4	1.9	-9.3	16.7
	来期	7.4	48.2	44.4	-37.0
	来期－今期	-9.3	13.0	-3.7	-5.6
客単価	今期	3.7	61.1	35.2	-31.5
	前期	5.6	48.1	46.3	-40.7
	今期－前期	-1.9	13.0	-11.1	9.2
客数	今期	13.0	37.0	50.0	-37.0
	前期	9.3	33.3	57.4	-48.1
	今期－前期	3.7	3.7	-7.4	11.1
商品仕入単価	今期	25.9	68.5	5.6	20.3
	前期	18.5	66.7	14.8	3.7
	今期－前期	7.4	1.8	-9.2	16.6
商品仕入額	今期	25.9	50.0	24.1	1.8
	前期	14.8	51.9	33.3	-18.5
	今期－前期	11.1	-1.9	-9.2	20.3
商品在庫数量	今期	9.3	68.5	22.2	-12.9
	前期	7.4	64.8	27.8	-20.4
	今期－前期	1.9	3.7	-5.6	7.5
採算（経常利益）	今期	5.6	50.0	44.4	-38.8
	前期	7.4	44.4	48.2	-40.8
	今期－前期	-1.8	5.6	-3.8	2.0
	来期	3.7	50.0	46.3	-42.6
	来期－今期	-1.9	0.0	1.9	-3.8
従業員 （含臨時・パート）	今期	4.7	86.0	9.3	-4.6
	前期	2.4	87.8	9.8	-7.4
	今期－前期	2.3	-1.8	-0.5	2.8
外部人材 （請負・派遣）	今期	0.0	91.3	8.7	-8.7
	前期	0.0	96.0	4.0	-4.0
	今期－前期	0.0	-4.7	4.7	-4.7
業況（自社）	今期	7.4	42.6	50.0	-42.6
	前期	7.4	42.6	50.0	-42.6
	今期－前期	0.0	0.0	0.0	0.0
	来期	1.9	42.5	55.6	-53.7
	来期－今期	-5.5	-0.1	5.6	-11.1
資金繰り	今期	1.9	64.8	33.3	-31.4
	前期	5.6	64.8	29.6	-24.0
	今期－前期	-3.7	0.0	3.7	-7.4
	来期	1.9	66.6	31.5	-29.6
	来期－今期	0.0	1.8	-1.8	1.8

サービス業の景況

1) 主要項目の動き

「売上（収入）額」D I（増加－減少）は、（前期－44.4）→－22.2（前期差22.2ポイント増）と増加した。来期のD I（増加－減少）は、今期比▲20.3ポイントの減少を予想している。

「採算（経常利益）」D I（好転－悪化）は、（前期－40.7）→－25.9（前期差14.8ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲14.8ポイントの悪化を予想している。

「資金繰り」D I（好転－悪化）は、（前期－25.9）→－9.2（前期差16.7ポイント増）と好転した。来期のD I（好転－悪化）は、今期比▲9.3ポイントの悪化を予想している。

「仕入単価（材料等）」D I（上昇－低下）は、（前期－1.9）→5.6（前期差7.5ポイント増）と上昇した。

「客単価」D I（上昇－低下）は、（前期－16.6）→－14.8（前期差1.8ポイント増）と上昇した。

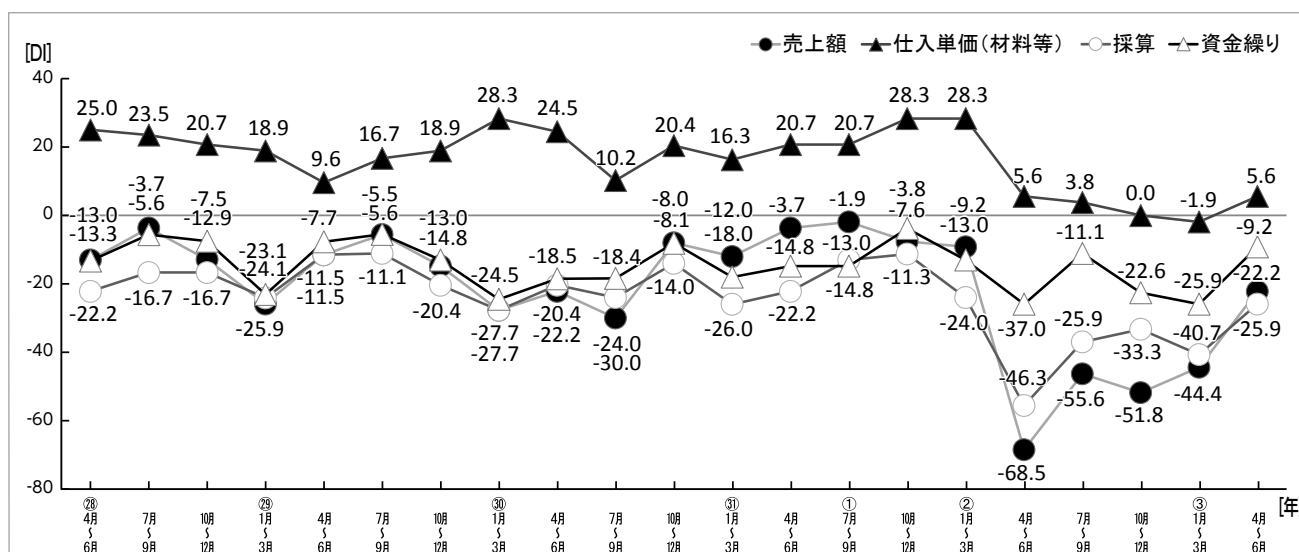
「利用客数」D I（増加－減少）は、（前期－42.5）→－25.9（前期差16.6ポイント増）と増加した。

2) 経営上の問題点

経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」（32.7%）、第2位は「利用者ニーズの変化」（16.3%）、第3位は「店舗施設の狭隘・老朽化」（8.2%）、第4位は「新規参入業者の増加」、「人件費以外の経費の増加」、「熟練従業員の確保難」（4.1%）である。

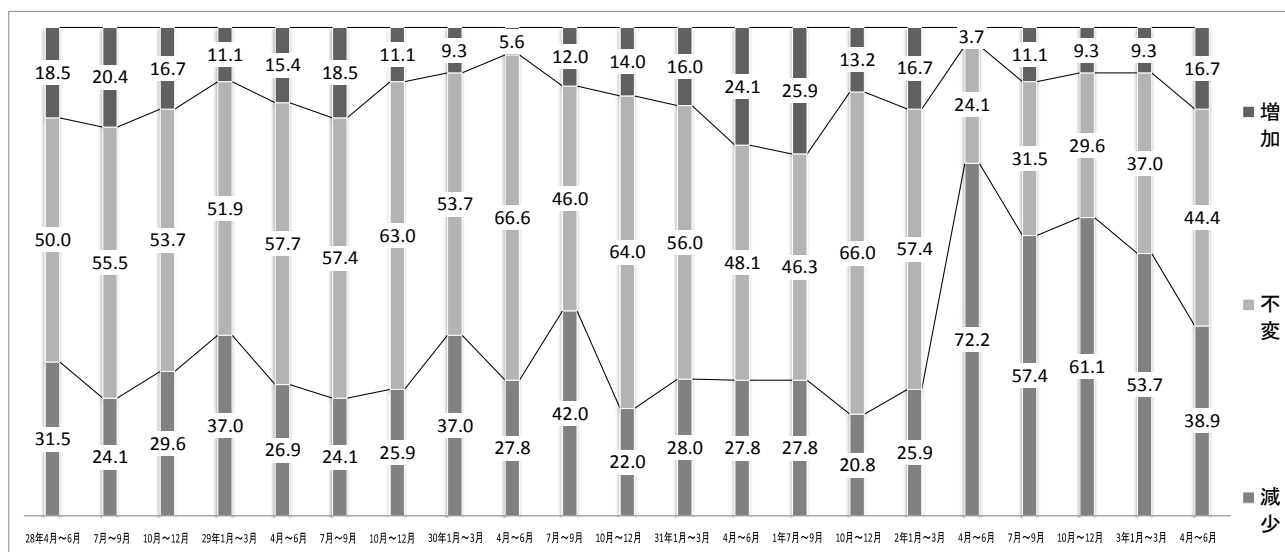
(1) 主要項目の動き

＜図5－1＞（岡山県）主要景況項目の推移 ー前年同期比ー

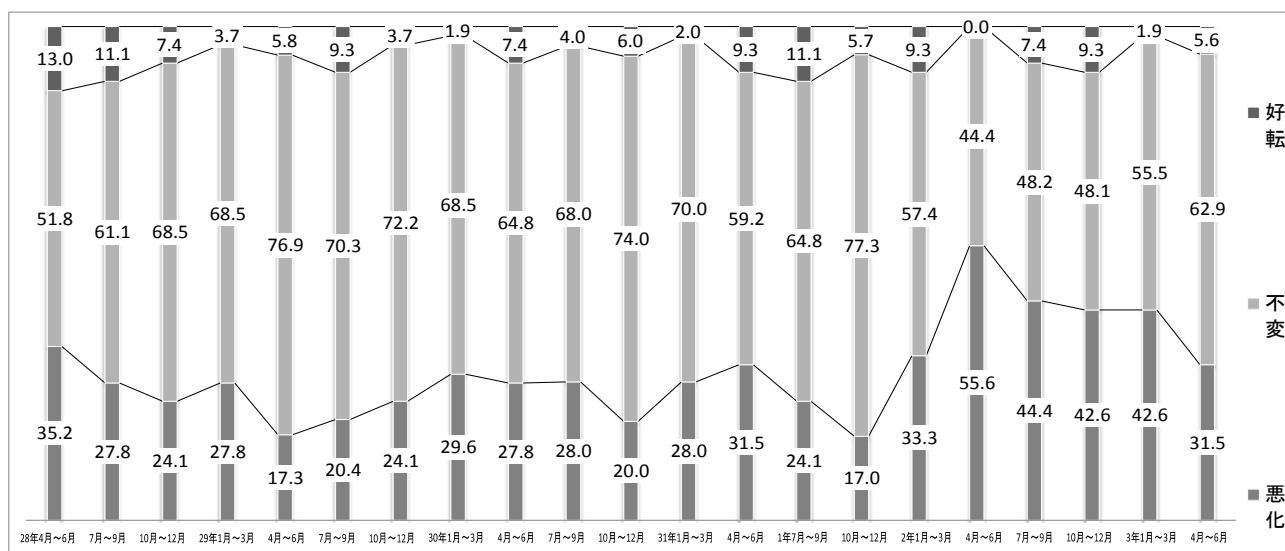


(2) 主要3項目の状況

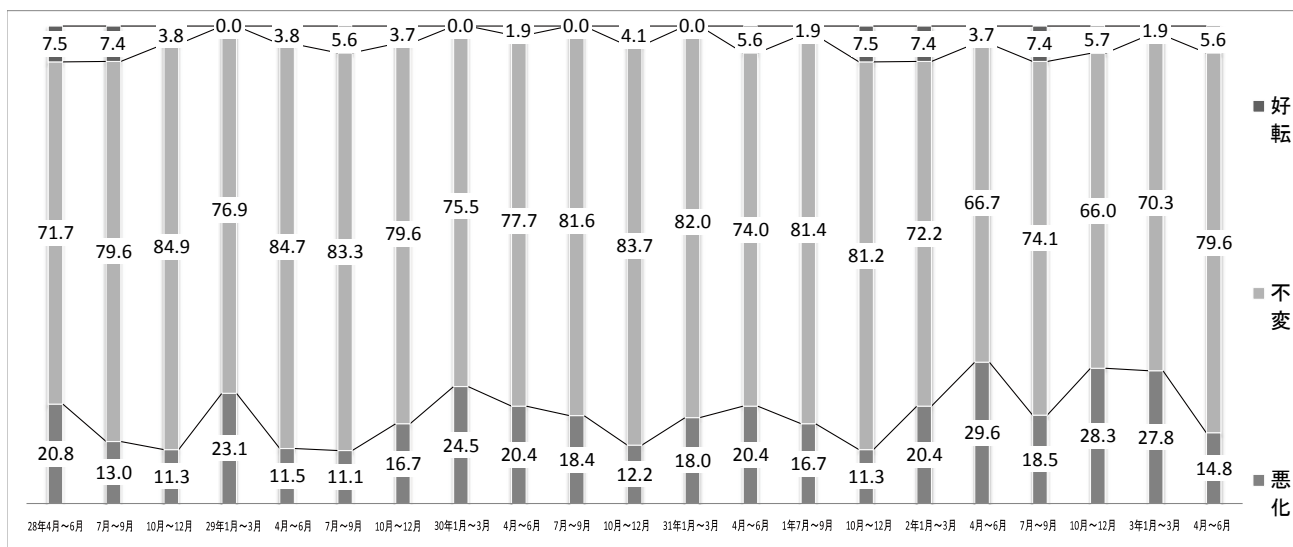
＜図5－2＞（岡山県）売上（収入）額の状況 ー前年同期比ー



＜図5－3＞（岡山県）採算の状況 ー前年同期比ー

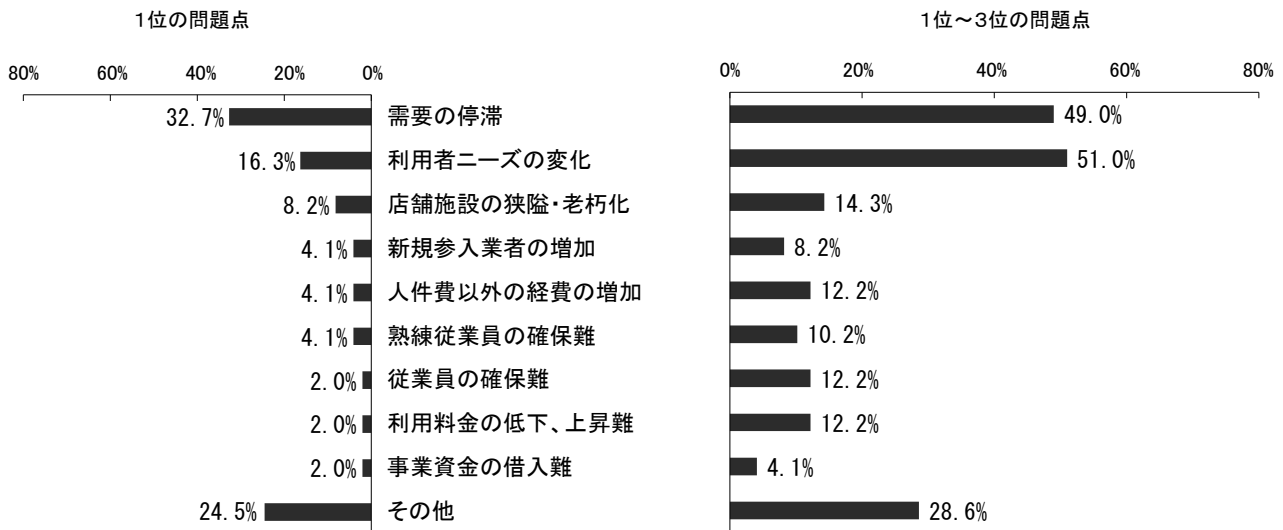


＜図5－4＞（岡山県）資金繰りの状況 ー前年同期比ー



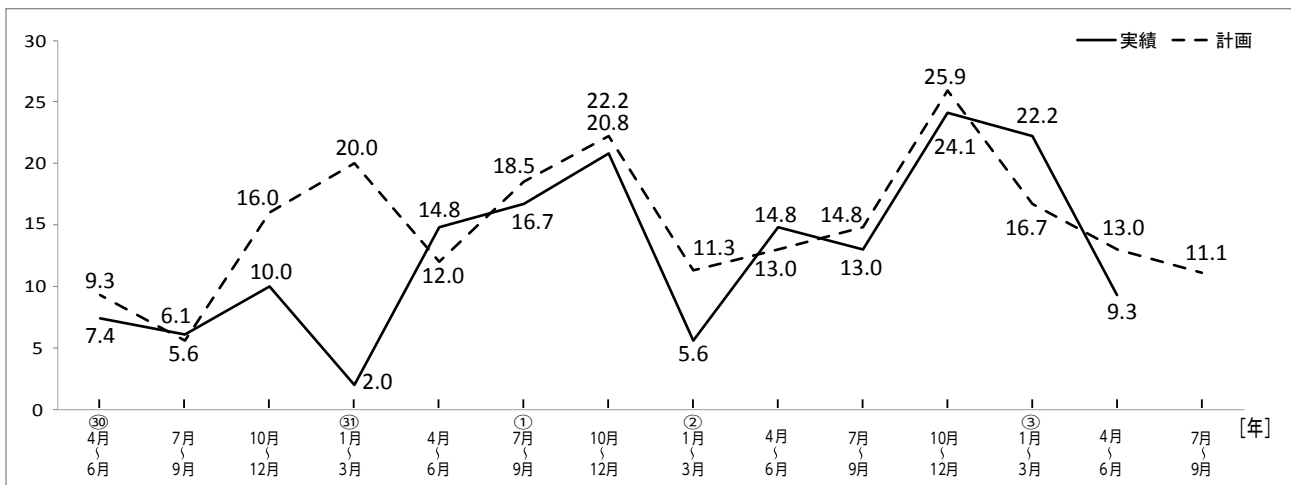
(3) 経営上の問題点の状況

＜図5－5＞（岡山県）経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



(4) 設備投資の状況及び投資内訳

＜図5－6＞（岡山県）設備投資の状況（実績・計画）



＜表5－1＞（岡山県）新規設備投資

新規設備投資		(%, 上段：実施、下段：計画)														
		30年 4月 ～ 6月	30年 7月 ～ 9月	30年 10月 ～ 12月	31年 1月 ～ 3月	31年 4月 ～ 6月	元年 7月 ～ 9月	元年 10月 ～ 12月	2年 1月 ～ 3月	2年 4月 ～ 6月	2年 7月 ～ 9月	2年 10月 ～ 12月	3年 1月 ～ 3月	3年 4月 ～ 6月	3年 7月 ～ 9月	
実施した 計画している		7.4 9.3	6.1 5.6	10.0 16.0	2.0 20.0	14.8 12.0	16.7 18.5	20.8 22.2	5.6 11.3	14.8 13.0	13.0 14.8	24.1 25.9	22.2 16.7	9.3 13.0	11.1	
	土地	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 10.0	12.5 0.0	0.0 10.0	9.1 16.7	0.0 16.7	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 7.1	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
	建物	0.0 20.0	0.0 0.0	20.0 12.5	0.0 30.0	37.5 50.0	22.2 40.0	18.2 25.0	0.0 50.0	25.0 42.9	14.3 12.5	15.4 28.6	0.0 0.0	20.0 28.6	33.3	
	サービス	50.0 60.0	0.0 66.7	0.0 12.5	0.0 30.0	37.5 33.3	22.2 30.0	27.3 0.0	66.7 33.3	25.0 14.3	42.9 50.0	38.5 64.3	50.0 66.7	60.0 42.9	66.7	
	車両・運 搬具	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 25.0	100.0 30.0	25.0 16.7	11.1 10.0	18.2 8.3	0.0 0.0	37.5 14.3	0.0 12.5	15.4 0.0	8.3 11.1	20.0 0.0	0.0	
	付帯施設	0.0 0.0	33.3 0.0	0.0 0.0	0.0 30.0	37.5 16.7	0.0 0.0	18.2 25.0	0.0 16.7	12.5 0.0	57.1 25.0	23.1 7.1	8.3 0.0	0.0 14.3	16.7	
	OA機器	25.0 40.0	0.0 33.3	40.0 25.0	100.0 30.0	50.0 16.7	33.3 30.0	18.2 33.3	0.0 16.7	12.5 14.3	14.3 12.5	15.4 7.1	41.7 22.2	0.0 14.3	0.0	
	福利厚生 施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 10.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
	その他	25.0 20.0	66.7 33.3	40.0 37.5	0.0 20.0	12.5 0.0	33.3 30.0	27.3 16.7	33.3 33.3	12.5 28.6	0.0 25.0	15.4 21.4	8.3 33.3	40.0 28.6	16.7	
	実施していない 計画していない	92.6 90.7	93.9 94.4	90.0 84.0	98.0 80.0	85.2 88.0	83.3 81.5	79.2 77.8	94.4 88.7	85.2 87.0	87.0 85.2	75.9 74.1	77.8 83.3	90.7 87.0	88.9	

(5) 主要景況項目の概況

＜表５－２＞（岡山県）サービス業（令和３年４月～６月）

項 目 名		D I 値の変化			
		(a) 上昇・増加・好転	(b) 不変	(c) 低下・減少・悪化	(a)－(c)
売上（収入）額	今期	16.7	44.4	38.9	-22.2
	前期	9.3	37.0	53.7	-44.4
	今期－前期	7.4	7.4	-14.8	22.2
	来期	5.6	46.3	48.1	-42.5
	来期－今期	-11.1	1.9	9.2	-20.3
客単価	今期	1.9	81.4	16.7	-14.8
	前期	1.9	79.6	18.5	-16.6
	今期－前期	0.0	1.8	-1.8	1.8
利用客数	今期	16.7	40.7	42.6	-25.9
	前期	5.6	46.3	48.1	-42.5
	今期－前期	11.1	-5.6	-5.5	16.6
仕入単価（材料等）	今期	9.3	87.0	3.7	5.6
	前期	7.5	83.1	9.4	-1.9
	今期－前期	1.8	3.9	-5.7	7.5
採算（経常利益）	今期	5.6	62.9	31.5	-25.9
	前期	1.9	55.5	42.6	-40.7
	今期－前期	3.7	7.4	-11.1	14.8
	来期	1.9	55.5	42.6	-40.7
	来期－今期	-3.7	-7.4	11.1	-14.8
従業員 （含臨時・パート）	今期	4.8	90.4	4.8	0.0
	前期	0.0	92.9	7.1	-7.1
	今期－前期	4.8	-2.5	-2.3	7.1
外部人材 （請負・派遣）	今期	0.0	100.0	0.0	0.0
	前期	3.2	96.8	0.0	3.2
	今期－前期	-3.2	3.2	0.0	-3.2
業況（自社）	今期	9.3	53.7	37.0	-27.7
	前期	3.7	59.3	37.0	-33.3
	今期－前期	5.6	-5.6	0.0	5.6
	来期	1.9	59.2	38.9	-37.0
	来期－今期	-7.4	5.5	1.9	-9.3
資金繰り	今期	5.6	79.6	14.8	-9.2
	前期	1.9	70.3	27.8	-25.9
	今期－前期	3.7	9.3	-13.0	16.7
	来期	1.9	77.7	20.4	-18.5
	来期－今期	-3.7	-1.9	5.6	-9.3

